



市長マニフェストの定期的な公開を

青山 豊

問 市長が昨年10月の選挙時に掲げたマニフェストの進捗状況を定期的に公開してはどうか。また、その着手や達成時期を明確にした工程表をつくるべきではないか。

答 マニフェストは改選後ただちに各部に早期実現を図るよう指示している。各年度の実績が確定したら、わかりやすい内容に編集し、市のホームページなどでお知らせしたい。マニフェストに掲げている各施策は基本的には今期中の実現を目指している。確実に実施するために工程表は必要と考える。

問 「自治体の憲法」といわれている自治基本条例は各地で制定の動きがある。市の取り組みについて伺う。

答 行政経営理念をつくり、それが職員の行動のベースとなるよう、努力している。それを軸に検討を進めている。来年度には条例を提案したい。

問 県立自然公園の指定は自然保護の観点だけでなく、歴史を含んだ文化景観も含まれるのではないか。また、山内地域の取り組みの後押しをお

願いたい。

答 県では里地・里山の保全と再生の活用に取り組むこととしており、都市近郊型の県立自然公園はそれと合致する。御嶽山は塩湯彦神社や白滝観音など歴史的資源もあり、県内登山者から愛される市民憩いの場として位置付けている。横手・山内地域の住民の意向を踏まえながら、一緒に運動を進めていきたい。

問 市民所得の目標数値化の進捗状況について伺う。

答 市民所得の基礎データにあたる「平成19年度秋田県市町村経済計算推計」の結果を分析している。できるだけ早く内容を固めたい。



塩湯彦神社 (御嶽山)

●その他の質問
○地域経済について

ごみ処理統合施設の候補地選定について問う

菅原恵悦

問 断念した柳田工業団地を候補地とした経緯や選定するまでの時間と費用、周辺地区住民との話し合いの内容は。

答 用地選定調査を委託した業者からの報告書をもとに検討をした。最終処分場近くであり、一体的な管理ができるという点で判断した。

平成20年4月にごみ処理統合施設整備推進本部をたちあげ、選定調査をコンサルタン卜業者に委託し、検討を重ねた。市報や各地域協議会で経過を報告しながら、平成21年5月に選定まで1年を要した。費用は用地選定調査委託料として、98万7千円である。

地権者や近隣町内会代表、隣接地関係者、柳田工業団地事務所連絡協議会と協議を重ねたが、「団地の所期の目的に沿って、企業誘致を推進し、雇用の場を図るべき」との強い要望があった。候補地のエリアを拡大し、周辺地域と数多く交渉を重ねたが、理解を得るまでには至らなかった。

問 新たに候補地とした南部環境保全センター周辺の自治会が行ったアンケート結果を

どう受け止めているのか。

答 重く受け止めている。地区住民や近隣自治会の皆さんに市の計画や、考えを理解して頂くため、説明会を継続して開催していこうとした最中に反対の陳情があった。十分な説明や、議論を尽くせなかったことは大変残念である。

問 南部環境保全センター隣接地を拡張して対応する方針とした経緯は。

答 新しい施設完成後に生ずる跡地利用の課題を解決できることから、既存施設の隣接地拡張が合理的であるとの判断をした。



南部環境保全センター

●その他の質問
○今後のごみ処理に対する市の取り組みについて